

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 フォトロン
 コード番号 6879 URL <http://www.photron.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 塚田真人
 (氏名) 竹岡峰夫

TEL 03-3238-2170

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,909	△23.9	120	△84.7	102	△88.0	16	△96.8
21年3月期第2四半期	3,824	—	790	—	853	—	514	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	2.23	—
21年3月期第2四半期	70.49	70.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	5,140	3,439	64.5	454.48
21年3月期	5,533	3,457	60.1	455.72

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,316百万円 21年3月期 3,325百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,900	0.7	530	△26.3	530	△43.2	320	△44.9	43.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 7,547,550株 21年3月期 7,547,550株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 250,042株 21年3月期 250,042株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 7,297,508株 21年3月期第2四半期 7,297,508株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年来の景気後退の影響が長期化する中、一部には持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の回復力は鈍く、設備投資の停滞や雇用情勢の悪化に伴う個人消費の低迷等により、依然として非常に厳しい状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは、民間部門は企業収益の低迷による研究開発投資抑制の影響が大きく、引続き官公庁や学術関係等を重点ターゲットとした販売戦略を継続いたしました。このような結果、連結売上高15億6千8百万円（前年同期比16.0%減）、連結営業利益5千1百万円（前年同期比85.0%減）、連結経常利益8千6百万円（前年同期比76.3%減）、連結四半期純利益6千万円（前年同期比71.9%減）となりました。

平成22年3月期第1四半期連結会計期間に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年8月11日開示）をご参照ください。

セグメント別の業績

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

①映像情報機器事業

1) Imaging Systems

高速度デジタルビデオカメラにおいて、国内・海外ともに官公庁や学術関係等を中心とした営業展開を継続いたしました。一方、今後の民間需要の回復時にも対応できるように、引続き販売代理店との情報交換などによる関係強化や海外市場における競合他社の廉価製品に対抗した新製品の投入などの施策を展開いたしました。このような結果、売上高8億2千2百万円（前年同期比27.4%減）、営業利益1億4千7百万円（前年同期比55.8%減）となりました。

2) Solution Systems

CAD関連製品分野では、主力製品である図脳Rapidシリーズにおける、下半期以降投入予定のWindows新OS対応のバージョン・アップ製品の開発・マーケティングなど引続き当事業年度全体及び来年度以降を見据えた販売戦略を展開いたしました。（株）リコーとの協業関係においては、Operiusに搭載される製品を契機に販売拡大の成果が出始めました。eラーニング関連製品分野では、製品の共同開発を行った（株）内田洋行との販売協力をはじめ、文教市場において補正予算に関わる需要も含め案件が増大し、また文教市場以外の企業分野からの需要も増加し始めましたが、その多くは成約時期が第3四半期以降となり当四半期での売上には充分反映されておりません。このように第3四半期以降の売上に寄与する施策に重点を置いた結果、売上高1億4千5百万円（前年同期比13.4%減）、営業損失7千3百万円（前年同期は営業損失6千4百万円）となりました。

3) Professional Systems

プロフェッショナル映像機器分野では、テレビ放送用映像記録装置のスタジオ関係向けの大型案件が成約に至り、高速度デジタルビデオカメラのテレビ放送・映画関連等における需要が拡大いたしました。また、コンテンツ配信システムのテレビ放送における広域大容量情報伝達トライアルを実施するなど今後の販売戦略に向けての施策にも注力いたしました。医用画像機器分野は、海外におけるOEM展開を開始し販路の拡大を図り、また核となるユーザーへの販売によりシェア拡大に向けた足がかりを築いたものの、競合他社との価格競争が厳しく利益率の低下につながる結果となりました。このような結果、売上高3億5千9百万円（前年同期比65.9%増）、営業利益4千4百万円（前年同期は営業損失1千5百万円）とな

りました。

以上の結果、映像情報機器事業全体では、売上高13億2千7百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益1億1千8百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

②LSI開発事業

セットメーカーによる在庫調整は一巡し、従来と比較すると低水準ではあるものの増産の動きも見られ始め、販売数量は増加しましたが、大型の開発投資を行ったため、この費用の回収までには至りませんでした。このような結果、売上高2億4千1百万円（前年同期比31.2%減）、営業損失6千7百万円（前年同期営業利益8千7百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は以下のとおりです。

①日本

民間企業の設備投資・研究開発投資は低調であることから、官公庁や学術関係に向けた営業戦略に重点を置いた展開を継続いたしました。また、第3四半期以降投入予定の新製品やバージョン・アップ製品の拡販に向けた準備にも引き続き注力しております。このような結果、売上高10億7千万円（前年同期比15.1%減）、営業利益1百万円（前年同期比99.5%減）となりました。

②北米

民間部門は冷え込んだままであり、ミリタリ関連での大型案件獲得など官公庁関連中心の販売戦略を継続し、また代理店との関係強化や新規契約により、中南米やオーストラリアなどの販路の拡大にも注力いたしました。一方、競合他社との価格競争は一層激化しております。このような結果、売上高2億6千1百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益4千4百万円（前年同期比129.5%増）となりました。

③欧州

自動車関連市場など民間部門の回復は見込みづらく、引き続き公的研究機関やミリタリ関連などを中心とした販売戦略を継続し、またインドや北欧、東欧など販路の拡大にも注力いたしました。このような結果、売上高2億3千6百万円（前年同期比32.3%減）、営業利益5千万円（前年同期比35.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、42億1千3百万円となりました。これは、現金及び預金やたな卸資産が減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、9億2千6百万円となりました。これは、有形固定資産の減価償却などによるものであります。

2)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.8%減少し、15億8千1百万円となりました。これは、買掛金や未払金が減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて39.9%減少し、1億1千9百万円となりました。これは、長期借入金や役員退職慰労引当金の減少などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて18.1%減少し、17億円となりました。

3)純資産

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、34億3千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末に比べて2億8千5百万円減少し、20億1千2百万円（前年同期は20億7千2百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2千2百万円となりました（前年同期は2億7千5百万円獲得）。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9千6百万円、たな卸資産の減少額1億8千4百万円、売上債権の減少額9千5百万円などであり、一方支出の主な内訳は、仕入債務の減少額1億9千2百万円、法人税等の支払額1億5千5百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億2千7百万円となりました（前年同期は1千9百万円使用）。

これは、主に子会社による定期預金の預入による支出1億3千万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億2千4百万円となりました（前年同期は1億9千2百万円使用）。

これは、配当金を7千4百万円支払い、長期借入金を5千万円返済したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想は、平成21年5月13日に発表した内容から変更はありません。

また、通期配当見通しについても、平成21年5月13日に発表した内容から変更はありません。

〔業績予想に関する留意事項〕

本資料に記載いたしました業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

3 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,142,998	2,298,695
受取手形及び売掛金	1,222,461	1,270,130
たな卸資産	583,492	771,672
繰延税金資産	120,141	104,684
その他	144,000	110,874
流動資産合計	4,213,093	4,556,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	498,843	498,843
減価償却累計額	△383,943	△376,410
建物及び構築物(純額)	114,899	122,432
機械装置及び運搬具	102,484	100,324
減価償却累計額	△81,836	△81,360
機械装置及び運搬具(純額)	20,648	18,964
土地	337,974	337,974
その他	452,767	489,631
減価償却累計額	△345,308	△355,022
減損損失累計額	△2,160	—
その他(純額)	105,298	134,609
有形固定資産合計	578,819	613,980
無形固定資産		
ソフトウェア	42,132	50,901
その他	7,527	7,367
無形固定資産合計	49,660	58,268
投資その他の資産		
投資有価証券	11,576	9,595
関係会社株式	30,300	30,300
敷金及び保証金	125,884	119,016
繰延税金資産	70,863	76,756
再評価に係る繰延税金資産	21,011	21,011
その他	38,799	48,943
投資その他の資産合計	298,433	305,622
固定資産合計	926,914	977,872
資産合計	5,140,007	5,533,930

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	454,372	651,085
短期借入金	650,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	33,884	79,458
未払法人税等	113,682	161,082
繰延税金負債	2,058	2,007
賞与引当金	44,702	42,750
その他	182,649	191,788
流動負債合計	1,581,350	1,878,172
固定負債		
長期借入金	—	50,000
長期末払金	46,924	48,053
繰延税金負債	3,744	4,077
退職給付引当金	21,248	19,761
役員退職慰労引当金	43,426	72,682
その他	3,926	3,926
固定負債合計	119,271	198,501
負債合計	1,700,621	2,076,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,600	504,600
資本剰余金	400,692	400,692
利益剰余金	2,685,546	2,742,216
自己株式	△108,771	△108,771
株主資本合計	3,482,067	3,538,737
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,284	△9,872
繰延ヘッジ損益	—	△12,741
土地再評価差額金	△30,486	△30,486
為替換算調整勘定	△133,737	△159,996
評価・換算差額等合計	△165,508	△213,096
少数株主持分	122,827	131,614
純資産合計	3,439,386	3,457,256
負債純資産合計	5,140,007	5,533,930

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,824,037	2,909,882
売上原価	1,573,270	1,183,985
売上総利益	2,250,766	1,725,897
販売費及び一般管理費	1,460,252	1,605,206
営業利益	790,513	120,690
営業外収益		
受取利息	3,461	2,997
受取配当金	665	297
受取賃貸料	11,657	12,246
為替差益	51,381	—
雑収入	4,793	10,637
営業外収益合計	71,959	26,177
営業外費用		
支払利息	8,742	6,069
為替差損	—	38,759
雑損失	16	8
営業外費用合計	8,758	44,837
経常利益	853,714	102,031
特別利益		
固定資産売却益	2,950	9,920
保険解約返戻金	—	17,280
特別利益合計	2,950	27,201
特別損失		
固定資産売却損	—	330
固定資産除却損	4,171	961
投資有価証券評価損	—	12,500
ゴルフ会員権評価損	8,247	—
役員退職慰労金	—	17,098
減損損失	—	2,236
持分変動損失	921	—
特別損失合計	13,341	33,127
税金等調整前四半期純利益	843,323	96,105
法人税等	312,882	87,538
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,043	△7,738
四半期純利益	514,396	16,304

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,868,106	1,568,645
売上原価	777,561	683,154
売上総利益	1,090,544	885,491
販売費及び一般管理費	748,747	834,258
営業利益	341,797	51,233
営業外収益		
受取利息	2,297	452
受取賃貸料	5,985	6,041
為替差益	15,202	25,228
雑収入	2,454	6,285
営業外収益合計	25,939	38,007
営業外費用		
支払利息	4,393	3,044
雑損失	8	3
営業外費用合計	4,401	3,047
経常利益	363,335	86,193
特別利益		
固定資産売却益	—	2,593
保険解約返戻金	—	17,280
特別利益合計	—	19,873
特別損失		
固定資産除却損	4,111	927
投資有価証券評価損	—	12,500
ゴルフ会員権評価損	8,247	—
役員退職慰労金	—	17,098
特別損失合計	12,358	30,525
税金等調整前四半期純利益	350,976	75,541
法人税等	124,368	22,600
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10,818	△7,736
四半期純利益	215,789	60,677

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	843,323	96,105
減価償却費	51,998	49,326
減損損失	—	2,236
持分変動損益(△は益)	921	—
為替差損益(△は益)	21,850	11,636
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,492	1,486
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,672	△29,256
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,103	1,952
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,500
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,950	△9,589
有形固定資産処分損益(△は益)	4,171	961
ゴルフ会員権評価損	8,247	—
受取利息及び受取配当金	△4,126	△3,294
支払利息	8,742	6,069
売上債権の増減額(△は増加)	△4,909	95,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,110	184,915
仕入債務の増減額(△は減少)	△294,285	△192,227
その他の資産の増減額(△は増加)	△40,129	△6,495
その他の負債の増減額(△は減少)	△170,879	△87,408
小計	454,149	134,710
利息及び配当金の受取額	4,126	3,294
利息の支払額	△7,728	△5,657
法人税等の支払額	△174,886	△155,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,661	△22,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△130,156
有形固定資産の取得による支出	△23,250	△17,433
有形固定資産の売却による収入	4,352	23,202
無形固定資産の取得による支出	△2,055	△928
子会社の自己株式の処分による収入	13,802	—
貸付金の回収による収入	1,170	1,230
その他	△13,749	△3,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,730	△127,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△50,000
配当金の支払額	△91,218	△72,975
少数株主への配当金の支払額	△1,002	△1,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,221	△124,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42,451	△11,261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,258	△285,853
現金及び現金同等物の期首残高	2,051,335	2,298,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,072,594	2,012,841

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,517,086	351,020	1,868,106	—	1,868,106
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	380	380	(380)	—
計	1,517,086	351,400	1,868,486	(380)	1,868,106
営業利益	254,600	87,196	341,797	—	341,797

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結会計期間の営業利益は映像情報機器事業で8,803千円減少しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,327,148	241,497	1,568,645	—	1,568,645
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	810	810	(810)	—
計	1,327,148	242,307	1,569,455	(810)	1,568,645
営業利益又は営業損失(△)	118,881	△ 67,647	51,233	—	51,233

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	3,214,003	610,033	3,824,037	—	3,824,037
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,270	1,270	(1,270)	—
計	3,214,003	611,303	3,825,307	(1,270)	3,824,037
営業利益	659,917	130,596	790,513	—	790,513

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は映像情報機器事業で8,803千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	2,495,352	414,530	2,909,882	—	2,909,882
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,890	1,890	(1,890)	—
計	2,495,352	416,420	2,911,772	(1,890)	2,909,882
営業利益又は営業損失(△)	188,087	△ 67,396	120,690	—	120,690

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	1,261,759	257,210	349,136	1,868,106	—	1,868,106
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	437,963	11,309	(1,275)	447,997	(447,997)	—
計	1,699,723	268,519	347,861	2,316,104	(447,997)	1,868,106
営業利益	279,967	19,308	78,318	377,595	(35,797)	341,797

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結会計期間の営業利益は日本で8,803千円減少しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	1,070,754	261,432	236,458	1,568,645	—	1,568,645
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	376,055	5,710	2,394	384,160	(384,160)	—
計	1,446,810	267,143	238,852	1,952,806	(384,160)	1,568,645
営業利益	1,298	44,317	50,739	96,355	(45,121)	51,233

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	2,544,401	560,529	719,106	3,824,037	—	3,824,037
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	971,371	38,358	9,507	1,019,237	(1,019,237)	—
計	3,515,772	598,887	728,614	4,843,274	(1,019,237)	3,824,037
営業利益	648,877	50,757	155,205	854,839	(64,325)	790,513

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は日本で8,803千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	1,955,465	420,084	534,333	2,909,882	—	2,909,882
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	652,349	21,367	6,194	679,912	(679,912)	—
計	2,607,814	441,452	540,528	3,589,795	(679,912)	2,909,882
営業利益	26,405	40,767	70,881	138,054	(17,364)	120,690

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	288,230	349,136	74,299	711,666
II 連結売上高(千円)				1,868,106
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.4	18.7	4.0	38.1

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米・・・・・・・・米国、カナダ
 欧州・・・・・・・・欧州諸国
 その他の地域・・・中国、韓国

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	285,759	236,458	41,913	564,131
II 連結売上高(千円)				1,568,645
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.2	15.1	2.7	36.0

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米・・・・・・・・米国、カナダ
 欧州・・・・・・・・欧州諸国
 その他の地域・・・中国、韓国

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	629,618	719,106	163,096	1,511,821
II 連結売上高(千円)				3,824,037
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.5	18.8	4.3	39.5

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米・・・・・・・・米国、カナダ
 欧州・・・・・・・・欧州諸国
 その他の地域・・・中国、韓国

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	474,782	534,333	177,261	1,186,376
II 連結売上高(千円)				2,909,882
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.3	18.4	6.1	40.8

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米・・・・・・・・米国、カナダ
 欧州・・・・・・・・欧州諸国
 その他の地域・・・中国、韓国

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考」

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(千円)	前年同四半期比 (%)
映像情報機器事業		
Imaging Systems	540,174	△ 47.4
Solution Systems	85,425	△ 28.1
Professional Systems	5,760	+ 376.9
LSI開発事業	242,292	△ 31.0
合計	873,654	△ 41.7

(注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同四半期比 (%)
(製品)		
映像情報機器事業		
Imaging Systems	748,025	△ 24.1
Solution Systems	107,976	△ 14.5
Professional Systems	122,709	+ 110.3
LSI開発事業	241,497	△ 31.2
製品計	1,220,209	△ 19.8
(商品)		
映像情報機器事業		
Imaging Systems	74,229	△ 49.7
Solution Systems	37,295	△ 10.0
Professional Systems	236,911	+ 49.6
商品計	348,436	+ 0.3
合計	1,568,645	△ 16.0

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。